

「商工会議所における「教育に対する支援・協力活動」に関するアンケート」

集計結果

日本商工会議所
平成20年6月16日

【調査概要】

1. 調査目的	教育再生のための課題は多岐にわたるが、中でも「社会総がかりでの教育」については、地域総合経済団体である商工会議所こそ中核を担うに相応しい組織であることから、地域における教育活動にさらに主体的に参画・支援していくことが求められている。当所では、これまで各地域において取り組まれてきた事例を収集し、各地商工会議所における今後の教育に対する支援・協力の参考として提供するため、標記調査を実施した。
2. 調査期間	平成20年4月18日(金)～5月9日(金)
3. 調査対象	全国516商工会議所
4. 回答商工会議所数	365商工会議所(回収率:70.7%)
5. 調査方法	イントラネット

商工会議所における教育支援活動の現状

・教育支援活動を行っていますか？

行っている・・・190商工会議所 / 365商工会議所 (52.1%)

前回調査(平成19年3月調査)時の88商工会議所から190商工会議所へ大幅に増加。(商工会議所数で102か所、2.2倍の増加)

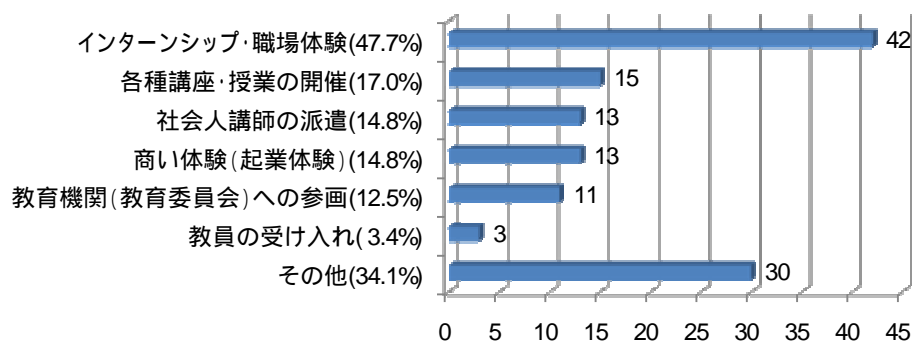
・教育支援活動の対象(「行っている」と回答した190商工会議所)

小・中学校対象・・・88商工会議所
高校以上対象・・・155商工会議所

「小・中学校対象」および「高校以上対象」を行っている商工会議所は両方にカウントされるため、190商工会議所とは一致しない。

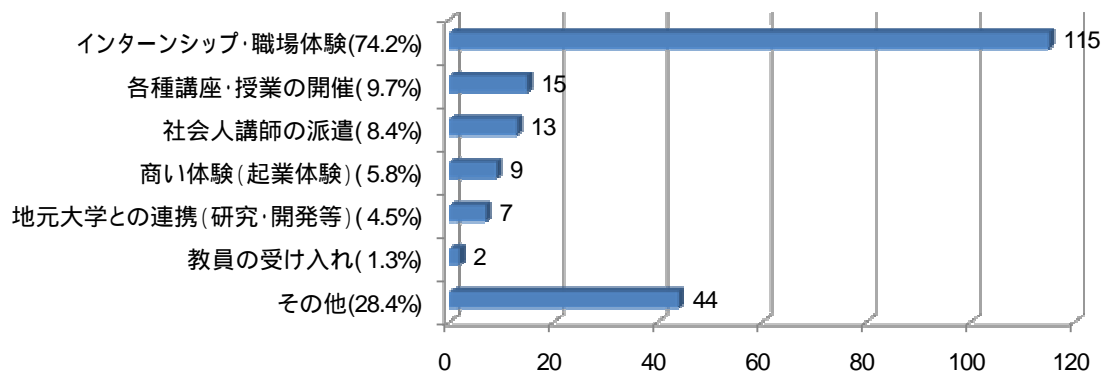
教育支援活動の内容

「小・中学校」を対象とした教育支援活動の内容（88 商工会議所）



その他：企業見学会、児童交流事業、教員への講義、街中賑わい創出事業 等

「高校以上」を対象とした教育支援活動の内容（155 商工会議所）



その他：企業見学会、就職説明会・模擬面接研修、奨学金・助成金制度、設備寄付、ビジネスプランコンテスト 等

商工会議所が主体的に取り組んでいる小学生・中学生を対象とした教育支援・活動等(88商工会議所)

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
札幌	ベンチャーキッズ	小学生が会社設立から事業計画立案、資金借入、仕入、商品加工、販売、決算までの現実の商売に即した一連の流れを体験することにより、経済のメカニズムや仕事の面白さ・大変さを知るとともに、働くことへの関心を喚起するもの。
岩見沢	キッズ・ベンチャー	(主体事業ではないが、会議所として実行委員に参加している。) ・キッズ・ベンチャー事業に参加する小学生・中学生の募集及び決定 ・キッズ・ベンチャー事業の啓発、広報及び情報の提供・参加する小学生・中学生に対して、キッズ・ベンチャー事業の内容説明及び経済の仕組みを学んでもらうための勉強会 ・看板やPOP作成を行う準備会の開催・販売会の準備 ・決算会の開催
滝川		中学生を対象とした職場体験を支援する、「滝川市キャリア教育実行委員」に委員として出席。受入企業の紹介等を行った。
美唄	子供チャレンジショップ	小学生がグループ単位で、空き店舗を借用して商売の実践を行っている。主に、食料品(スナック・ドリンク類)の販売
名寄	名寄市立名寄中学校「職業体験学習」	・名寄中学校の2年生の生徒が当所会員事業所で3日間の職場体験を行う。 ・職場体験を通じて今後の中学校生活において、望ましい「職業観」や「勤労観」をもって意欲的に学習するようになるため、平成16年度から実施しており、今年度で5回目となる。 ・これまでの学生参加数は延べ400名。19年度受入協力企業は31社。 ・受入企業は、百貨店・小売業・ガソリンスタンド・病院・理美容院・ホテル・自衛隊等
大曲		郊外学習への協力:当会議所が主催している花火競技大会について、歴史や業況などについて、花火と観光の結びつきなどについて、講演、討論会の実施
新庄	キャリア教育推進事業	地元地域17校の中学1～2年の生徒のインターシップ5日間の受入企業の斡旋
天童	少年少女発明クラブの運営	月1回、土曜日の午前中、様々なモノづくりにチャレンジしている。講師は現職の教員3名と元教員3名の計6名。毎年、8月に開催される山形県少年少女発明クラブコンテストにも多数参加。
会津若松	ジュニアインターンシップ中学生「職場体験学習」	市内各中学校から「職場体験」希望が入り、昨年度は9校1,409名の希望者を、会議所が全会員に案内し企業との間に入り交渉しマッチングさせる。
	ジュニアエコノミーカレッジ	小学生を対象に、起業家精神を養い地域社会に貢献できる人材を育てることを目的に昨年度で9回開催。小学校5・6年生が5人1組で模擬株式会社を設立し、資本金1万円、借入金1万円の計2万円を元手に実際に商売を体験。販売終了後、商品のアイデアや売り方、利益率などを総合的に評価し、最も優秀なチームをグランプリとして表彰。昨年度は31チーム153名が参加。昨年度、「ジャパンベンチャーアワーズ2008」起業教育部門奨励賞、「日本YEG大賞」グランプリ受賞。
須賀川	珠算ボランティア事業	小学校の授業で珠算の実技講習
		地区内商工業の概要について授業の中で講演
新潟		1 中学校の総合学習において、伝統行事の「新潟まつり」について説明している。 2 中学校の総合学習において、「まちづくりや商業活動」について説明している。
上越	上越市キャリア・スタートウィーク 上越「ゆめ」チャレンジ	上越市内の全中学校(22校 約1,900名)が当所の会員事業所で5日間の職場体験学習を行う。人材育成、地元企業への雇用促進を目的として、平成18年度から実施している。チラシを配布し、各会議でも受け入れを要請するなど、受け入れ企業の確保に努めている。

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
新発田	職場体験学習	地元・市立第一中学校2年生が当所会員事業所を中心として、5日間連続の職場体験学習を実施。以前、他の中学校からのスポット的に不足する業種、事業所を補足するための照会はあったが、今回のような参加生徒数131名の受け入れ企業の照会に対し、全般的に関わったのは、初めてのケースであった。受け入れ企業には、のぼり旗を掲げるなど、業種は農業も含め、多種多様に割っている。
十日町	十日町教育振興後援会事業	1. 学校教育環境の充実改善 2. 児童生徒の奨学に関する事項 3. 学校及び教職員の研究助成に関する事項
富山	金融教育サポート事業 (平成20年9月実施予定事業)	小学校の低学年・中学年を対象として、金融部会所属企業の社員が、金融教育を通して「自立する力」「社会とかがわる力」の育成支援を講義形式で行うことを計画している。
	産業観光モデルルート 体験バスツアー	富山の産業観光を推進する上で、地元の子供達にこそ地元の産業にふれてもらい、理解し興味を持ってもらうことが必要であるとの考えから実施。夏休み期間中に、市内の産業施設の見学や、体験等を行う1日バスツアー。
滑川	夏休み子供企業見学会	将来郷土を背負っていく子供達に、最先端技術を有する地元事業所を見学し、そこで働く人々の姿を見て、話を聞くことを通して、郷土に対する誇りを培い地元企業への関心を持ってもらう。市内小学校5・6年生を対象として、夏休みの学校行事(クラブ活動・登校日等)のない日を利用して午前・午後1事業所ずつ見学する。参加者には後日感想文を提出してもらう。事業所には参加者の感想文を提出する。
黒部	企業見学会	市内にある身近な会社を知り、地元を理解し興味を持たせる(将来を担う子供達に普段見ることの出来ない「ものづくり」の現場を見てもらい企業の事業活動やものづくりの面白さ、大切さを認識してもらう。)夏休み期間中に実施、市民向けに募集をかける。
加賀	地域人材産学連携事業	高校生の市内企業への就職促進を目的に、市内7企業から普通高校総合科、実業高校に企業内容の説明を行った。
上田	上田子どもふれあい市場(キッズマーケット)	子どもたちが流通の仕組みを体験し、「商売」の楽しさを知ると共に自ら行動・協力する力を養うことを目的に実施。小学5年生を対象に商品の仕入・販売活動など流通の仕組みを体験する。
	ふるさとスケッチ展	ふるさとの美しい自然や歴史・文化を身近なものとして感じ、恵まれた環境を再認識するとともに、次世代へ受け継ぐために、ふるさとを大切にすることを目的としたもの。市内の小学校3年生を対象に、ふるさとの祭りや自然等を題材にした水彩画・クレヨン画を募集し、審査を行う。その後表彰式、作品展覧会を行う。
長野	中学生職場体験受入れ事業(長野県商工会議所連合会が他の経済団体と実施する職場体験事業)	中学生・高校生を企業で受入れ職場体験を行うことにより働くことの意義を感じてもらう。
須坂	須坂市企業見学事業	郷土企業のものづくり、大人の働く姿を見て、郷土就職感の早期醸成を図る 対象:市内小学校11校 5年生 約550名 期間:9月～10月 見学企業:須坂商工会議所及び市内企業11社 交通手段:貸切バス18台(一校1～2台)
塩尻	こども科学探検団	小学5,6年生約20名を対象に年間6回、大学、県工業試験場、県教育センター、民間企業の協力を得て、科学工作教室を行う
中野	小学生商い体験	小学生が学習の一環として作った商品を販売する
佐久		佐久鯉の特徴・養殖法・歴史・生活との関わり・食文化についての講義

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
日立	日立市職業探検少年団	小中学生を対象に、様々な職業を探検(見る・聞く・体験)する。平成20年度は10の探検団(農業、林業、水産業、ものづくり、あきんど、IT、福祉、エネルギー、建築デザイン、観光)が業界関係者等を団長に活動。会議所は、本部事務局及び「ものづくり」と「あきんど」の両探検少年団を担当。
	「日立の工業ものづくりを訪ねて」バスツアー	市内の産業文化遺産を含めた発展の歴史を知ってもらうため、小学生を対象に市内にある記念館、工場を、一日かけて見学する。
鹿沼	子ども産業書初め席書大会	市内の小学生1年生～6年生までの生徒を対象に、書初めを行い、各賞を呈し、優秀な生徒の作品を市庁舎等に展示する。
日光	今市納涼祭花火大会絵画展	夏休みの期間中に小学校へ花火の絵を募集し(任意)約1,000点を審査、約100点を入選とする。内30点を入選作品として商店街へ展示。残りは大型店の会場を借用し展示する。毎年最優秀作品は、次年度のプログラムの表紙になる。
太田		小・中学生の職場体験について、事業所及び商店への協力依頼
さいたま	中学生の職場体験「未来くるワーク事業」支援	中学2年生が3日間の職場体験、社会体験を行うための受け入れ企業情報の提供を実施
	街中にぎわい創出「街かどコンサート」	浦和駅周辺の2会場(2日間)において小学生の「金管バンド」演奏を実施し、街の賑わい創出、回遊性向上を図り、地域活性化を行う。
狭山	さやまビズ・キッズ/さやまビズ・キッズコース	小学校5年生が事前の学習、約12時間を受講し、自主的に(先生や大人の指示でなく)起業し、業種、会社内での役割を決め、銀行から融資を受け、仕入れる商品を決定し、売値をつけ、実際に商店街等の社会で大人(消費者)を相手に、現金を使い、現物の商品を販売し、出来るだけ儲けるというプログラムで、終了後に「税金」等のフォローアップ授業をも実施する。これら一連の活動を、指示受けでなく自主的に考え、友達とディスカッションし、意思決定し、不測の事態にも対応し、工夫し、グループとして、自力で会社の運営を行い、最終的に利益確保するという内容で、このような活動を通じ5年生としてのレベルで、理論的にものを考え、目標管理し、自分の意見を的確に表現し、相手の意見を聞く態度を養い、友人・大人とのコミュニケーションを行い、さらに、積極的に行動し、不測の事態にも対応し、工夫し、困難を力をあわせて乗り越え、目標に向かって進むトレーニングを行う。昨年同様同様のプログラムで中学生版を実施している。テーマは「現金・現物・現場の3現主義」
	Robo Sprint	国の支援を受け、地域の中小企業と、工業高校を結ぶプログラムを実施しているが、高校教員からの意見で、中学校からの入学にミスマッチが有るようで、高校とすると「ものづくりが大好き」という生徒を確保したいため、高校の事業要素を中学生に体験してもらい、そのような人材を顕在化させ、工業高校に誘導したい考えで取り組んでいる。狭山工業高校の教員と、バンダイ・ナムコとで共同開発した(ライトレース)ロボットを中学生の公募参加者に作製してもらい、指導を高校生が行い、最終的にはレースを実施する。
茂原	環境問題意識向上(絵画・ポスターの作成)	茂原市内の全14小学校の1年～6年までの生徒を対象に、環境に対する意識高揚を目的として、毎年実施している。 ・募集から発表まで：6月に募集し、結果を8月の広報(新聞折込号)を通じて発表。優秀作品を市の施設に1週間展示。 ・昨年度実績：応募総数 421点。応募学校数 8校。
野田	キャリア教育実践プロジェクト	職場体験(中学2年生を対象にした連続5日間)受け入れ事業所の開拓
習志野	ワクワクならしの発見ツアー	子供たちに日頃目にする事の出来ない市内の工場や大学見学の機会を提供し、「見て、触って、やってみて」体験していただくことで自分の住む街の産業や大学を再認識してもらうほか、事業を契機に一人でも多くの人達が将来の夢や目的を見出す手がかりの機会を提供する。

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
東京	A新宿・総合学習サポート事業 B荒川区教育支援ネットワーク事業	A小・中・高校生を対象とし、区内の会員事業所に体験研修を実施(受入事業所は登録制) B中学校から教育委員会を通じて会議所に職場体験受入の依頼。会議所はあらかじめ登録した企業の中から、学校の要望に合うと思われる企業の経営者に連絡・調整を行う。最終的には学校と企業とで話し合いにより受け入れ可否を決定するシステム。
	教員の民間企業派遣研修(10年経験者必修)受入れ	東京都では教員の資質向上、学校教育の改善・充実に資するため、毎年教員を民間企業に派遣し、企業活動を体験させる研修を実施しており、その受け入れ先確保のための募集協力。
	教育問題委員会	平成3年より常設委員会を設置。教育基本法の改正等について提言のとりまとめ、キャリア教育についての企業アンケートの実施、報告書の作成等。本年度から教育再生を現場で実現するため、企業サイドから教育支援活動の推進に取り組んでいる。
八王子	中学生の職場体験支援事業	地域企業と市内中学校(38校)との間の直接職場体験をマッチングさせるシステムを構築した。
	元横キッズショップ	6年生児童を6名1グループに分け、各グループで仮想会社を設立。社長、副社長等の役割分担をして、店名、販売商品、販売計画等の事業計画書を作成。商工会議所(TMO)から事業資金融資を受けるため、各グループがプレゼンテーションを実施する。商店会役員が審査(再審査もある)し、融資決定後各グループに3万円を融資。その資金をもって、仕入れ等を行い、中心市街地において開店、販売を行う。借り入れた資金は終了後、返済する。
	花と緑のシンボルロード 花壇の管理	計画立案、花の選定、沿道事業者への灌水協力依頼、定期的灌水作業等を6年生児童たちが自主的に実施。花の植替えは5月、7月、11月の3回実施。児童による手書きの「花の植替え告知ポスター」などにより、花壇に駐輪や踏み荒らされることが減少した。
むさし府中	職場体験推進事業	本所は職場体験学習協力店舗(企業)を紹介している。
多摩	多摩市立中学校「未来を招く職場体験」	キャリア教育実践プロジェクトの一環として、児童・生徒一人ひとりが明確な目的意識をもって日々の学業生活に取り組み「生きる力」を身につけ、激しい社会の変化に対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようにするため、職場体験事業をスタートいたしました。商工会議所は、事業所を束ねている立場から、中学生の職場体験受入れ事業所をお願いしたところ、平成19年度は市内240ヶ所を超える事業所にご協力をいただきました。
横須賀	中学生“自分再発見”プロジェクト	中学2年生の総合的学習の時間を体系化し、社会人との交流により、職業に対する興味や今後の学習への意欲・関心事につながる教育カリキュラムを、商工会議所が主体となり、市・市教育委員会と共に作成するプロジェクト。その他、職業体験マニュアルも作成予定。
小田原箱根	市内への教育旅行受入	「教育旅行誘致」を切り口に、市内における観光客受け入れ態勢を整備し産業活性の促進を図る。
浜松	浜松市企業家精神啓発塾	社会人講師の派遣要請のある小・中学校に対し、特に浜松地域を代表とする製品・物産を生産する経営者などを派遣。
	地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト	各地域の指定校に対し、民間も含めたコンソーシアムを組み、小中学生のキャリア教育を実施するもの。
	浜松科学館運営委員会	科学・ものづくり教育に対し、地域産業界として支援するため、各種企画の策定・運営に協力
清水		中学2年生の生徒を中心とした3～5日の職場体験学習

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
三島	三島地区職業体験活動推進事業「ゆめワーク三島」	子供が生きる力と地域の教育力向上を図るため、学校及び各協力団体、協力機関が相互に連携し、職業体験活動を通じて、地域の子供を地域の大人が育てることをテーマに掲げ、中学2年生を対象に平成16年度から実施しており、今年度で5回目の開催。
	珠算普及事業	・冊子配布先：三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町の公立小学校40校 ・配布部数：教師用122部、生徒用2601部 ・派遣事業(ボランティア授業)：小学校3年生の児童を対象に32日間32校2132名、派遣講師は日本珠算連盟三島支部会員11名。
島田	人財ネットワーク	当所会員事業所の方方で「地域の産業」「職業観」「地域の文化・歴史」等の話ができる「人財」を講師登録し、小・中学校の社会科や総合学習等にこれらの話を通して子供たちに「島田」を伝え、この地域を愛する次代を担う「島田人(しまだびと)」を育成する
藤枝		市内の大学から夏休み期間中の2週間、1名をインターシップとして、受け入れをし、経営指導員の指導の下、商業や工業関係について勉強している。
		青年部の部会員から講師を派遣。内容については、働くことの意義や職場体験をするにあたっての心構え等である。
岐阜		中学校2年生生徒が、夏休み期間内に会員企業の職場体験・見学ができるよう、受け入れ先企業をリストアップするとともに、関係行事に参加する生徒を対象とした傷害保険料を支払っている。
大垣	小学生商い体験事業	小学校の上級生を対象に製造、仕入、物販、決算に至るまで商いに係る一連のことを体験、研修してもらう。
	学校、警察、産業界の連絡会議	学校での生徒育成に関する問題、警察が関与する青少年の犯罪、PTAの事業活動、万引きなど商業者が抱える問題など、各々が情報交流を行い、健全な青少年育成に反映させる。
	ものづくり(手づくり)体験	地域産業への関心と理解を深める目的で、各事業所と連携し、木杵づくり、豆腐づくり、和菓子づくり体験場を開設し、利用について周知を図っている。対象は大人から子供まで。
各務原	各務野立志塾	当所が主体的に取り組んではないが、「各務原市」が実施する『各務野立志塾』を応援している。この事業は、中学生を対象に「次世代リーダーの育成」を目指し、魅力ある人材育成のために実施している事業である。当所の会頭星野鉄夫氏が同塾の実行委員長を、また、副会頭の榎本行雄氏が副委員長を務め、講師として、塾生たちにリーダー像について講義をし、同事業に貢献している。(立志塾：世界文化遺産である岐阜県白川村にある、トヨタ白川郷自然学校を舞台に、中学生が、学校の教科書や、塾では体験できないことを4日間の研修で学ぶ)
羽島	キャリア教育事業	キャリア教育推進委員会を設置し、市内の全小中高校を対象に 社会人講師による授業、 職場見学(小学校)、職場体験学習(中学校)、インターシップ(高校)の実施。(言語ロボット製作授業(小中学校対象))。

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
名古屋	親子で体験する夏休みモノづくり見学会	夏休みの1日を利用して、次代を担う小学生を対象に、親子での当地域の製造工場の見学やワークショップ(工作教室、ガラス細工、七宝焼き等)を通して、「モノづくり」の楽しさと感動の体験や、親子での話し合いの機会を提供する。
	モノづくり・しくみ探検ナビ(モノたんナビ)	地域の産業や技術・文化等をインターネット上で学ぶことができるよう、協力企業より作成されたe-learningのコンテンツを集めたポータルサイトを運営している。小学校高学年を主たる対象に、本ナビの基本フォーマットに沿って学習コンテンツが作成された「モノたん学習コース」と、基本フォーマットとは異なるが既に企業が所有しているコンテンツを集めた「参考学習コース」の2種類のe-learningコンテンツを提供し、実際の学校の授業に活用できるような内容となっている。 モノたんナビへの協力企業(6社)(順不同敬称略) ・「モノたん学習コース」:NTT西日本名古屋支店、東邦ガス株式会社、ブラザー工業株式会社 ・「参考学習コース」:NTT西日本名古屋支店、株式会社中日新聞、中部電力株式会社、トヨタ自動車株式会社
一宮	一宮少年少女発明クラブ	初年度は、市内の小学校児童(4~6年生)47名を対象にカリキュラムにそって毎月1回教室を開催し、10名の専任指導員が材料は皆同じでも、クラブ員が工夫して自分だけの作品が出来上がるようアドバイスをしたり、道具の正しい使い方、片付けや掃除などもあわせて指導した。
	発明くふう展覧会	西尾張地区の3市2町(一宮市・江南市・稲沢市・扶桑町・大口町)の小中学校の児童・生徒を対象に行い、「自由作品」と「楽しい遊び道具」をテーマとする課題作品の2部門で募集。各学校より学内選抜された作品を会場に出品展示した。また、出品された作品の中から、優秀作品を選び、表彰式を行った。
瀬戸	平成20年度瀬戸商工会議所キャリア教育事業	地域社会の様々な企業の現場での職場体験・インターンシップ、地元で働く大人を市民講師として学校に招き、働きがいや生きがいについて話しを聞く「職業講座」、陶器会社の設立から商品企画、制作販売、損益計算までを学ぶ、せともの製造販売会社のワークショップなどを実施し、対象となる社会人講師や企業と学校とのコーディネートを行っている。
豊田	豊田市キャリア教育支援事業	市内中学生2年生、約4,000名の職場体験事業にかかる受入事業所の確保および事業所のデータベース化
碧南	碧南市少年少女発明クラブ支援事業	発明クラブは、毎週日曜日(クラブ員は月1回、年10回)、碧南市ものづくりセンターにて、小学3年生から6年生までを学年ごとに、紙や木を使った工作・電気工作など、ものづくりを通して、作る楽しさ、工夫する楽しさを学ぶ工作教室を実施している。夏休み期間には、自由工作教室(相談窓口)を開催している。その発明クラブへの支援事業を行なっている。(発足に伴い、自動車シャーシカットモデル及び工作用備品購入のために300万円を寄贈を行なっている。また運用支援として毎年150万円の支援を行なっている。)
春日井		役員・議員・青年部会員等へ受入れに関する周知・取りまとめを行っています。
	出会いと体験道場 講話会	青年部メンバーが地元中学校(2年生)を対象に、経営者・社会人としての経験談・心構えなどを講義する。
犬山	小学生(環境・ゴミ問題)作文・絵画コンクール	日本商工会議所女性会事業として実施した為
大府	そろばん授業ボランティア社会人講師の派遣	小学校3年生の授業に対し市内全校(8校)に対しボランティアで珠算塾の先生を派遣する。固に平成19年度で5年目となり平成18年度5校に対し市内全校(8校)に増えた。
上野	事業所(受入先)の確保・後援	受入先リストに対する情報・提供
大津	ものづくり体験学習事業	未来の「ものづくり」を支える人材を育成して、地域の産業振興に繋げる目的から、大津市内の小中学生を対象とした理科工作・実験講座を開講し「自分のアイデアでものをつくる喜び」や「新しいことを知る喜び」を体験してもらう。
草津	インターンシップ実習生等受入れ	中学校が決めた期間(1週間)、生徒2名を職場に受入れ、社会人としての仕事を指導する

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
守山	あきない体験学習	12月後半の土、日の二日間にわたって、市内で「もりやまいち」が開催される ときを狙って、市内の中学2年生を対象にした、商品の製造販売を体験させて いる。当所が若干の補助金を出しており、総売り上げから仕入れ代金を差 し引いた分については、社会福祉協議会に寄付している。
		学校側の依頼のあった講師条件でそれを満たすような講師で中小企業オー ナーを紹介するのみ。おおむね毎年紹介する講師は社会人としての心構え や、事業所を学生に何を期待するか二テーマを絞って講演してもらっている。
京都	京都市スチューデントシティ ファイナンスパーク事業	学校での学びを社会で知恵として生かす体験学習を通じて自らの生き方を 探求し、働くことの意味や社会とのつながりを理解することを目的に、平成18 年度より実施。平成19年1月、元京都市立滋野中学校3階部分に、スチュ デントシティ(小学生対象)が、2階部分にファイナンスパーク(中学生対象) が誕生した。スチューデントシティは、校舎の中に銀行、商店、新聞社、区 役所等(12ブース)からなる「街」を再現し、児童が学校での事前学習を基 に、消費者役と企業に勤める会社員役、それぞれの立場での役割を担い、 体験学習を通じて社会の働きや経済の仕組み、社会と自分との関わりなど を学ぶ。ファイナンスパークでは、同様に校舎内に「街」を再現し、学校での 事前学習を基に、税金・保険をはじめ食費や光熱費など生活に必要な費用 の試算、様々な商品やサービスの購入・契約などを体験する。
	小学生への環境学習事 業	優れた環境技術を有する京都企業の技術者や研究者が市内の小学校に出 向き、小学生に授業を行う。地球温暖化やエネルギー問題、3Rなど環境に 関するテーマで、それぞれの企業の技術や特色をいかした授業を実施して いる。
	京都子どもモノづくり事 業	科学・モノづくりへの憧れや興味・関心を高める教育活動、生き方探求教育 (キャリア教育)など京都市教育の充実・発展を図る取組に対し、経済界とし て支援・参画している。現在までの具体的事業としては「至高の動くおもちゃ づくりグランプリ全国大会 in KYOTO」(輪ゴムで走る手作りの車の競技 会)を19年12月に開催。また、京都の偉大な創業者や技術者のものづくりに 対する熱意、精神などが理解できる展示・体験学習型施設を設置・運営する 「京都モノづくり殿堂事業」などの取り組みも進めている。
大阪	大阪キャリア教育支援 ステーションの設立と活 動支援	(大阪キャリア教育支援ステーションの事業内容)・社会人講師の紹介・職場 見学、職場体験、インターンシップ、教員の企業研修受入先の紹介・教育委 員会との連携によるキャリアカウンセラーの学校への派遣・キャリア教育プ ログラムの収集・整理とHPでの情報発信・キャリア教育啓発のためのフォー ラム等の開催
	小学生の出店体験事業 「キッズ・マート」	・「商売のマチ・大阪」にふさわしい小学生対象の起業家精神涵養事業として スタート。・商店街の活性化、ならびに学校と地域との連携・交流促進を目指 す。・平成11年度よりスタートし、平成19年度までに90校、6,000人以上の児 童が参加。・お祭りなど地域の催事と連携するなど地元の活動として定着し ている学校も多く、実施校独自で運営している。商工会議所の役割は、支部 を通して商店街との連携を図ることと、販売商品提供の支援等。
	経済産業省「理科実験 教室プロジェクト」理科 大好き“なにわっ子”育 成事業	・地元企業の社員やOBを「特別講師」として、小学校5、6年生の理科の授 業に派遣し、子供たちが学ぶ理科と実社会を結びつけた「生きた理科実験 授業」を実施し、小学生の理科への関心を高め理科離れを防ぎ、将来のモノ づくり人材の育成に寄与する。・平成19年度、経済産業省からの委託事業と して実施。・大阪市立の小学校44校・4,559名の生徒に対し、13企業・2団 体の協力を得て、「てんびんとてこ」「もののとけ方」「水溶液の性質」「電磁石の はたらき」などの単元で実験授業を実施。
八尾	職業体験商業活性化支 援事業	市内商店街、市場等の個店を中心に中学生が職業体験学習を行い、その 職業体験を紹介する記事を情報紙に編集し、八尾市全戸に配布する。
高石		本所会員事業所の中から、職場体験を受け入れ可能な事業所を抽出した 名簿を市内中学校宛に配布
三木	トライやるウィークの受 入れ	地元中学校2年生の生徒が当所で5日間の職場体験を行う
	スナッグゴルフ講習会	三木市教育委員会と立ち上げた三木市ゴルフ協会事業の一環として実施し ている。スナッグゴルフを通じて青少年の健全育成に努め、ゴルフの基本と マナーを習得する講習会とスナッグゴルフ大会を開催。
加西		校長、教頭研修会に講師として参加

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
御坊	きのくにロボットフェスティバル	・ホンダ「アシモ」、NEC「パペロ」の実演 ・和歌山県下、小中高の学生ロボットコンテスト大学ロボコン大会(2校)、全国高専ロボコン(4校)、全国高校ロボコン(2校)の上位チームの実演
紀州有田	キャリア教育実践プロジェクト	市内4中学校の2年生を対象・職場体験(4日間)
岡山	教員の長期社会体験研修	年度の前期・後期の教員受入れ
	キャリア教育のあり方調査研究委員会	岡山県教育庁教職員課からの協力依頼。当所産学官連携委員会副委員長を推薦
	教員研修の派遣先企業の調整	・教員研修の派遣先企業の調整 ・高校の教頭先生の3ヶ月研修受入れ企業を斡旋
尾道	トライワーク尾道	市内中学2年生約800名が生徒自身の主体性を尊重する体験活動を通じ豊かな慣性や創造性を高める一助として市内の企業事業所で2日間職場体験をする
	民間企業等派遣研修事業	就任後2～3年を経過した市町立の教諭を一週間、企業の職場実習に参加させ、業務・接遇・地域との交流等経験を積ませる。
	小学生絵画コンクール	小学生を対象に夏休み研究課題として実施し、環境関連の公共イベントで表彰、展示を行っている。
呉	総合的な学習におけるNPO等の外部人材活用推進事業「二川教育NPOプラン」	～地域に貢献できること～を大きなテーマとして、「パンフレット作製」や「肉じゃがまん」の開発などに対して、地域活性化、及びイベント開催のノウハウ等の観点から助言を行った。
福山	福山少年少女発明クラブ	福山地域の小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、年間固定のメンバーで20回程度の例会を開催。内容は、電気工作、木工など。定員は30名。クラブ会費は、年間5,000円。専門指導員5名は、小・中学校の教員経験者や会社社長。
	びんご産業市場 木工教室	びんご産業市場の開催会場において、小学生～中学生の親子を対象にし、物を作ることの大切さ、面白さを体験してもらうことを目的に実施。平成19年度は11月17日(土)、18日(日)の2日間開催し、49組の親子が参加。
	琴無料貸出事業	昭和57年より、全国の小・中学校を対象に、琴の無料貸出を行い、琴演奏者の裾野拡大に努めている。延べ面数は、約1,000面。その成果の発表の場として、全国小・中学生箏曲コンクールを毎年開催し、子どもたちの伝統音楽に対する興味を深める一助となっている。同時に、福山地域の小中学生を対象とした琴演奏発表会「ふくやま琴まつり」を行っている。コンクールは平成20年度で26回目。
府中	府中市キャリア・スタート・ウィークへの受入企業募集	府中市教育委員会と協力して、受入企業を募集。また、受入企業を対象とした説明会を開催した。平成17年度から毎年実施している。
廿日市	廿日市市キャリア・スタート・ウィーク	・地元中学校2年生の生徒が当所会員事業所および当所で職場体験を行う ・チラシを配布するなど、受入企業の紹介および発掘に力を入れている
	廿日市市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会	・廿日市内全中学校の2年生が夏休みの最後の10日間のうち5日間で地元の企業で職場体験に挑戦する ・市内10校の中学2年生全員1078名が挑戦する大事業である
防府		インターンシップ受入企業の紹介。将来の地域産業を担う生徒に、インターンシップを通じて、望ましい職業観、勤労観を育成する。
	子供チャレンジショップ	小学生(5・6年)にチャレンジショップを体験させることで、将来の起業家育成を目的とする。「マーケティング」「事業計画書作成」「資金調達」「仕入・販売計画」等の一連の企業経営の流れを3日間で体験する

会議所名	事業名 空欄は事業名なし	事業内容等
徳山	工場等の見学	周南地域は、全国でも有数の石油化学コンビナートを形成し、企業城下町として発展してきた。そこで、観光資源としての工場に着目し、地域産業・雇用拡大の弾みとなることを期待して、本事業を開始した。
	周南少年少女発明クラブ	少年少女が創造性を発揮し、楽しみながら創作活動が出来る場を提供する工作教室の開催。
高松		職場体験
八幡浜	児童交流事業	沖縄県南風原町との児童交流事業：小学生児童（約20人程度）の相互の交流（ホームステイ）をする事により、先人の偉業の確認、違った環境と歴史の勉強等学校の机上の学習では学ぶ事ができない体験学習を行い、児童の成長に寄与する。（5年生で訪問し、6年生で受入れる。）
宇和島	宇和島学	宇和島の祭りについて講演、約45分
直方	直方市14才チャレンジウィーク	市内中学校2年生509名(市内4中学校)受入先市内160社への5日間職場体験
柳川	やるキッズ支援事業	仕事体験学習を通して、勤労の大切さと金銭を得ることの苦労が分かるようにする。働くことは社会に役立つことであるということを理解することができるようにするなどの目的で、市内の事業所に3日間職場体験の実施により貴重な体験を身につけること。
苅田	キッズマート	町内の小中学校を対象に、仕入から販売・収支決算まで、リサーチ力・発想力・協調性・計算能力、一連の授業を通して子供達の生きる力を育むものである。
宮若	宮田中学校生徒の職場体験	宮田中学校の2年生を対象とした、職場体験学習を2日間にわたって行う。実習時間は、9時から15時まで。当商工会議所では、職場体験学習受入事業所の紹介をしています。
佐世保	商い体験事業	単に1日商売体験をするだけでなく、事前に担当職員が学校にて講演を行い、「物流」や「仕入方法」「価格設定」について指導。生徒は来街や競合店を調査し、何を販売するか自分たちで決め、POP等も自分たちで作成する。
島原	島商upp(シマショップ)	平成16～19年度の4年間、商店街の空き店舗を活用して、長崎県立島原商業高等学校の生徒による販売実習(島商upp・シマショップ)を行った。平成17年度からは、島原市中堀町商店街協同組合が長崎県や島原市の補助事業の協力を得て実施。販売実習(途中、販売士協会などの協力を得て接客マナーやラッピング講座も開催)、「島原の懐かしい写真展」や市内高校生の「作品展(美術等)」も開催。販売実習では、商品仕入から広告宣伝、経理処理まで一貫して生徒が行い、同商店街がバックアップ、当所も市担当課と一緒に計画段階から携わってきた。9～12月の短期間ではあるが空き店舗が埋まり、また販売実習や勉強会を通じて、店舗経営に必要な基礎知識を習得。将来一人でも多くの起業家が誕生することを期待するとともに、商店街をはじめ、地元の方々と接することにより、地元への愛着や地域活性化への参加意識を養って頂けたのではないかと思う。商店街においても若者の意見を取り入れるよい機会であった。
牛深		一般事務補助
津久見		高校生の部、及び中学生の部にわたっての職場体験2～3日間。
高鍋		中学3年生を対象として各事業概要の説明を行う。その後詳細について講話を実施する。

商工会議所が主体的に取り組んでいる高校生以上を対象とした教育支援・活動等(155商工会議所)

会議所名	事業内容等
小樽	市内複数の高校から要請を受け、2年生を2～3日間インターンシップとして受け入れ、当所業務を体験してもらっている。
札幌	・札幌商工会議所附属専門学校:札幌商工会議所附属専門学校の運営を通して、高等学校卒業以上の方が、専門知識・技術、資格を身に付け就職を決定するための教育・指導活動を実施している。平成20年度開設の学科は「経営情報学科」「システム会計学科」「税務会計学科」「総合ビジネス学科」「ビジネス情報学科」「福祉ビジネス学科」の6学科でいずれも2年過程である。平成21年度からは既存の6学科に「北海道観光学科」を加えることになる。在学期間には簿記検定、日商PC検定、表計算検定、日商販売士検定、福祉住環境コーディネーター検定などの資格取得をはじめ、企業実習(インターンシップ)、店舗経営実習、社会貢献活動の一環でもある地元商店街の活性化調査・提言などの実践教育を展開している。就職は札幌商工会議所の会員企業を中心に毎年95%以上の安定した就職率を維持している。 ・高校生、大学生への就業体験支援 ・高校への講師派遣
旭川	就職のための会社説明会への協力
室蘭	1. 高校生・大学生を対象としたインターンシップ事業 2. 地元企業視察見学会、企業合同説明会
帯広	高校出前セミナー(学校へ希望テーマに沿った講師を派遣する。有料) インターンシップ生の受入(地元の専門学校生を2週間受入し、商工会議所業務を体験させ、社会勉強の場としている)
網走	地元高校生を対象としたインターンシップ事業の受入 毎年2日間1人を受け入れている。
滝川	高校生・短大生を対象としたインターンシップの受入。
深川	インターンシップ事業として、高校生を2日間当所で職場体験教育実習受け入れを行っているほか、会員事業所へも同様に紹介斡旋をしている。
栗山	・ヤング&チャイルドショップ体験事業...平成16年度から中心商店街の空き店舗を利用して、高校生等による模擬店を開設し、模擬店の運営を自ら実践しながら望ましい勤労観・職業観を養い勤労意欲の向上を図ることを目的に実施している。【事業費】50万円(当所25万円、栗山町25万円)
名寄	平成15年度より地元高校3校が9月に、当所会員事業所で3日～5日間のインターンシップ事業を実施している。
美幌	インターンシップ事業、講師の派遣
伊達	地元高校生(2年生)を対象としたインターンシップ事業を支援。受入先事業所のおよそ8割は当会議所で開拓したものであり、学校側にリストとして提供する際は、企業の一般的情報の他、体験できる仕事の内容、体験日数、その他体験に当たって注意すべき事項もまとめ、体験先を選択する際の情報の充実化に努めている。
登別	市内高校生を対象としたインターンシップ事業
十和田	<受託団体(十和田地区雇用対策協議会)の事業> ・周辺高校への企業ガイドブック配布。 ・当協議会会員事業所と生徒(高校生)との懇談会。 ・就職情報交換会の開催。 ・北里大学生受け入れ事業(地元大学との交流事業)
盛岡	大学生に対して、職業意識醸成の重要性を気づかせ、職業観を向上させることを目的に平成19年7月31日から8月7日までの8日間、東北学院大学から実習生として4名受け入れた。盛岡の観光振興と商工会議所の役割の研修テーマで実施した。
水沢	地元商業高校から商工会議所での職場体験のお願いをされております。3日間で10名程度です。(毎年ではありません)
大船渡	高校生を対象としたインターンシップ事業への協力、支援事業
仙台	市内4大学から合計20名のインターンシップを商工会議所として受入している。10名毎の2グループとして各々1週間(5日間)、各部において勤務体験。高校については依頼の都度対応。
横手	高校生を対象とした職場研修事業
山形	<ジュニア・インターンシップ事業> 本事業の実施により高校生が企業等の現場において就業体験を積むことにより、実践的な能力を身につけ、実社会における職場適応能力を高めるとともに職業選択の機会の体験を行うことができる。また企業においては自社に適した適応能力のより高い実践的で創造性の高い新規高卒者の育成・確保と、高校生の就業体験を通じて将来の職業選択、将来設計を考えた職業人としての意識喚起を図り、社会性の素養を育成していくことを目的とする。 (平成19年度実績)受入企業:74企業、参加高校・生徒数:12校・302名(2年生)
米沢	地元県立短期大学の4大化と国立大学法人の機能充実のため、行政や関係団体と連携し、学園都市推進協議会を設立。当所が事務局として推進役となっている。また、地元県立高等学校に専攻科の設置要望。設置後は、産業界として人材育成に協力している。
新庄	・高校2年生を対象とした模擬就職面談会の開催 ・大学・高校生のインターンシップの受入 ・首都圏の大学生を対象にした、地元就職面談会の開催(雇対協)と共催

会議所名	事業内容等
天童	地元高校2校を対象に、未来の職業を考える職場見学会を開催。
郡山	インターンシップ推進事業
会津若松	市内高校生のインターンシップ事業。
白河	・高校生を対象とした産業現場実習生の受入 ・大学生のインターンシップ受入
原町	高校生以上を対象としたインターンシップ受入事業の実施
須賀川	・農業高等学校の生徒が生産した農産物を中心市街地の公共施設で販売実習(当所のまちづくり事業の一環として実施。連携して情報高校がホームページを作成協力) ・大学のゼミ生が市街地に常駐し、連携してまちづくり事業の調査研究を行った。
新潟	1 新潟国際情報大学の学生4名程度をインターンシップとして受け入れている。 2 専門学校を20名程度、流通関連会員企業にインターンシップとして受け入れてもらっている。(当所事務局・販売士協会)
上越	地元高校生が、商品開発から価格設定、販売まで担い、中心市街地の空き店舗を利用し、2日間開催され、毎年市民より好評を得ている。
三条	三条市雇用対策協議会(当所と三条市、ハローワーク、栄商工会、下田商工会の5団体で構成)で、新潟大学の学生を対象に、三条市内の企業への就職促進を図るため、5月下旬より、開始予定。
新発田	・県立新発田商業高校が以前から実施しているSCP活動(模擬会社の設立、運営、決算、解散)にスタート当初から、外部役員として職員を参画させ、その運営に協力。期間は2ヶ月程度の中で、週1回(1回当たり2~3時間程度)、生徒と一緒に時間を費やし、会社運営の協力。 ・当市に所在している大学等からのインターンシップの受け入れは、当初しても従来から、受け入れを行なっている。
新津	・新潟薬科大学と連携したカキノモト(食用菊)やプチヴェールを使った商品開発。 ・「にいつまつり」への新潟薬科大学の学生の参加、協力
富山	1.大学生を対象としたインターンシップ事業の実施。 2.ビジネス専門学校との連携講座の開催。 3.若手後継者等育成事業として青年部が実施。青年部会員と県内高校並びに企業とのコラボレーションによる商品の開発や実践販売を行う。 4.ものづくり人材育成事業。富山工業専門学校の学生を対象に、地元中小企業の高い技術レベルや製品の特異性を知ってもらうことを目的に、管内の事業所(製造業)の工場見学を実施。20年度は他の大学・高校など対象を拡大する予定。
氷見	・高校生のチャレンジショップ実施について、商品の仕入れ先の紹介と商店街へのチラシ配布に協力 ・高校生、大学生の企業視察の実施 ・大学生による市内事業所の広告制作をする実践授業と評価展示の支援
砺波	地元「工業高校」との連携(工場協会を中心とした)(最新機械の実習・就職支援等)
小松	インターンシップ事業の一環として、地元商業高校が年1回実施している職場実習の受入を行っている。
加賀	市内実業高校への設備寄付
上田	上田市、東御市、その近隣の高校生を対象にしてインターンシップの推進事業を行っている(受入事業所は、製造業、小売業、サービス業、行政などである)
長野	中学生・高校生職場体験受入れ事業;中学生・高校生を企業で受入れ職場体験を行うことにより働くことの意義を感じてもらう。
佐久	信州短大(佐久)・信州大学(上田)の留学生を対象とした交流会の開催(企業見学・名所旧跡見学・スポーツリクリエーション・懇談)
古河	地元高校1年生の生徒が当所にて3日間の職場体験を実施する。人材育成、地元企業への就職促進等を目的として、平成13年度から実施しており、今年度で8年目の開催。これまでの参加者数は延べ26名、学校数は12校。
日立	工業高校生のインターンシップ事業(3日間)。 工業高校生の年間を通じた職場体験事業(いばらき版デュアルシステム)を支援。 茨城大学などとの産学連携事業として、インターンシップの受け入れ企業の斡旋。 県立日立産業技術専門学院生を対象とした若年者ものづくり人材養成奨学金貸与制度の運営。
石岡	高校生のインターンシップ事業
ひたちなか	県立那珂湊第一高等学校による那珂湊版デュアルシステムの実施にあたり、生徒の職場体験に伴う事業所の紹介、開校式企画、出席などの支援と協力
宇都宮	・高校生インターンシップ支援事業(受入企業開拓等) ・職業意識啓発セミナー等への講師派遣(高校、短大、大学等を対象に、ビジネスマナー講習会等の就職支援セミナーに講師を派遣する。) ・職業トークセッション(高校生を対象に職業選択能力の向上を図るため、学識経験者、企業の若手社員、人事担当者等をパネラーとしたトークセッション) ・就職ガイドブックの作成(高校生、短大、大学等を対象に就職活動の進め方や、面接の受け方、社会人としてのマナー等を習得させるためのガイドブックを作成し、配布する。)
足利	実業高校の生徒と連携してチャレンジショップの実施
鹿沼	インターンシップの受け入れ

会議所名	事業内容等
大田原	高校生を対象とした文部科学省のインターンシップ事業に当所では学校の要望で高校生の受け入れ事業所を紹介している。
高崎	インターンシップ実習生の受入を積極的に行っている。地元高校・大学及びインターンシップ受入事業に協力し、年間をとおして高校生・大学生の職場体験学習に協力している。
太田	1. 空き店舗対策事業の一環として、地元の商業高校と大学にチャレンジショップを出店していただいた。商業高校については現在も営業(野菜販売・3年目)を継続している。 2. インターンシップ事業として、過去に県内国立大学の学生と障害をもつ高校生をいずれも一週間受け入れ商工会議所の業務について体験した。 3. 太田市内の高校を卒業し、太田市内の企業で当会議所会員事業所に就職が決定した高校生に対し、地元企業への就職促進として議員総会の場で表彰している。
川口	工業高校実践教育導入事業において、インターンシップ技能者による特別授業等を実施した。(文科省と経産省との共同事業)
熊谷	埼玉産学連携ものづくり人材育成事業として熊谷工業高校と連携。インターンシップへの協力や保護者、生徒、企業の座談会を実施。
さいたま	工業高校実践教育導入事業(クラフトマン21):昨年度から経済産業省及び文部科学省の2省が連携し、実施している事業。当所は、県立大宮工業高校と連携して取り組んでいる。メニューは、インターンシップ・デュアルシステム・企業技術者による実践的指導・教員の企業研修・課外活動支援(ロボットコンテスト出場のロボット製作の支援)等。 さいたま市技術伝承等企業人材育成支援事業:さいたま市より事業委託を受け実施している事業。県立浦和工業高校と連携し取り組んでいる。メニューは、インターンシップと企業技術者による実践的指導。20年度は同様のメニューに工場見学ツアー等を予定。
深谷	「深谷市インターンシップ推進事業」市内在住・在学の高校1・2年生を対象としたインターンシップ事業の実施。
上尾	近隣2市1町の行政、商工団体(商工会議所・商工会)、企業、大学・高等学校で雇用対策協議会を組織し大学生・高校生のインターンシップ事業を実施。
狭山	1.高校生～地元の狭山工業高校と実施。埼玉県が受け皿となり、国の支援を受け県内4箇所の指定で事業実施。狭山では、インターンシップ(2年生・希望制)・工場見学(1年生全員)・出前講座(企業人が工業高校で教鞭を取る)(年間10コマ程度)・技術指導の受入(高度熟練技能者の活用)・ミニ工場見学(少人数希望制)・ロボットプログラム(上部に記入)・事業PR活動(企業訪問)等を実施している。 2.大学生～「さやまビズ・キッズ」に市内の大学(西武文理大学・武蔵野学院大学)及び中学生版に明治大学政治経済学部からお手伝いを受けいており、交流等が生まれている。そのほか、本年度から明治大学政治経済学部のインターンシップを小規模ではあるがお引受けしている。
千葉	市内にある大学と、インターンシップを受入れても良いと名乗り出てくれた企業を登録し、企業から会議所へ受入れの業種や人数を報告してもらい、それを大学に周知する。それに基づき、大学と企業が直接折衝し、結果を報告してもらう。大学と企業は覚書を締結し、実習終了後、大学から会議所へ報告書を提出して事業終了。
松戸	大学生を対象としたインターンシップ制度
八街	事業としてではないが、地元県立高校の要請により、毎年2日間、2～3名の学生をインターンシップ生として受け入れている。
東金	・地元高等学校生のインターンシップ事業 ・地元大学と連携してのシャッターグラフィックプロジェクト(空き店舗シャッターに絵を描く)
習志野	インターンシップ事業
成田	H10より、地元「千葉県立西陵高校・生産流通科」3年生生徒(約30名)を対象とするインターンシップ事業の受入先企業募集窓口となり、現在会員企業10社にて対応している。
東京	新宿・総合学習サポート事業:小・中・高校生を対象とし、区内の会員事業所に体験研修を実施(受入事業所は登録制)
武蔵野	地元大学の学生を、毎年インターンシップとして受け入れている。期間中は事務仕事だけでなく、部会会議等への出席やイベント応援、また経営指導員と一緒に事業所巡回も経験させている。毎回、大学での報告会に参加しているが、当所に来たどの学生も、「事業所巡回はとても良い経験をした。これからの学生生活に役立つし、社会に出てからも同様である」と発表している。
立川	当所が主催団体の一つとなっている立川まつり国営昭和記念公園花火大会において、高校生及びフリーターの体験学習を受け入れる。内容は、観覧エリア内の誘導、遺失・拾得物の取り扱い、迷子・救護対応、翌日の清掃活動など。
多摩	大学生を対象としたインターンシップ事業。平成19年度は、帝京大学の学生を商工会議所で受け入れました。
横浜	インターンシップ事業の実施:平成16年度より、当所並びに横浜市内に本部を置く9大学と当所会員企業の連携・協力のもと、大学の夏休み休暇期間を利用して、実習期間を2週間を基本とする「横浜インターンシップ制度」を実施している。 企業人講師の派遣仲介事業:関東学院大学で生きたマーケティング理論を学習することを目的に開催している「横浜カスタマーサービス」講座に、当所が市内有力企業等の中から同講座への講師を選定し、仲介の役割を果たしている。

会議所名	事業内容等
横須賀	・高校生、大学生を対象としたインターンシップ事業 ・高校生を対象とした職場体験学習教室の実施 ・大学生を対象とした就職模擬面接 ・近隣大学とのキャリア・サポート契約の締結
川崎	市内大学の学生に、会員企業での就労体験を提供することにより、職業意識の醸成や職業選択の一助となる専門知識の習得につながることを目指す。受入企業は自社のPR、職場の活性化、指導社員の成長を図る。これにより、産学連携を深めるとともに、次世代の地域経済の担い手となる人材を育成する。今後、専門学校生、高校生も対象に検討する。
小田原箱根	当所内で組織する西湘異業種研究会において、地域高校の校長、進路担当者を対象とした雇用問題懇談会の開催。また、企業ゼミナールにより、生徒を対象とした職業体験を開催し、地域企業を知ってもらうとともに、社会や働くことを学んでもらう。
秦野	産能大学生のインターンシップを当所で受入している。8月3日～9月10日の2週間
相模原	高校生を対象としたインターンシップ
静岡	「地域産業・大学等交流会」地域産業界の発展、社会活力の維持向上に必要な若年労働力確保の推進を図るために企業の人事担当者とは県内外の大学、短大、専修学校等の就職担当者との情報交換を開催している。
浜松	いずれも主催団体に協力のため参画 ・「若者と中小企業とのネットワーク構築事業(経済産業省)」参画・・・地域の普通高校生を対象とした産学官連携によるキャリア教育 ・「専門高等学校企業人材育成事業」参画・・・地域の工業系高校の産学官連携によるキャリア教育 ・現代的教育ニーズ取組支援プログラム「ものづくり教育はままつ10年構想ー中小高理科教育から技術者養成までのサーモンプロジェクト」運営参画
沼津	平成17年度より、インターンシップ事業を実施しており、今年度は、沼津高専(本科4年生・専攻科1年生)、東海大学開発工学部(全学科)、日本大学短期大学部(商経学科)と連携し実施する。
清水	しみず新事業開発振興機構を立上げ、産・官・学(地元大学)が連携して新事業の創出、新製品の研究・開発を行っている
三島	裾野高校の2年生を対象とした、インターンシップ事業への受入れ企業の紹介
大垣	平成18年2月、岐阜経済大学、大垣市商店街振興組合連合会、大垣商工会議所、大垣市の四者間で中心市街地活性化のための四者協定を締結した。この協定は、中心市街地を活動拠点とし、様々な調査研究・イベント・まちづくりの実証実験を行っている岐阜経済大学のマイスター倶楽部に対し、相互に連携し協力体制を強化するもの。当所においては活動の中心的役割を担うマイスター倶楽部を運営管理する岐阜経済大学に対し、協定に基づき事業費の助成を行っている。
羽島	社会人講師の派遣とインターンシップ受入企業の紹介
名古屋	名商冠講座 活動内容「都市型産業」の代表ともいえるデザイン分野での人材育成を目的として、名古屋市立大学の協力を得て、9月26日から28日の3日間に亘り開講した。20年度は「デザインと持続可能な未来社会」をテーマに、6月～7月にかけて愛知県内の全大学共通の単位互換講座を行う予定である。[内容] 26日～28日午前:ワークショップ(学生30名が小グループに分かれての制作実習。)28日午後:特別講演会(テーマ:ものづくりの明日-フェラーリに学んだブランディング)並びにワークショップ講評会(講師:奥山清行氏(フェラーリ・エンツォ、家具、ロボット等数多くの工業デザインの実績を持つ工業デザイナー)。県内の学生を中心に200名が参加) 「都市型産業」とは、モノづくり産業をサポートする産業や生活者・来街者を対象とする産業等を総称したものである。本所では18年度の提言「『世界都市』を創る都市型産業～産業ステージの拡大と名古屋の魅力向上～」を取りまとめた。
岡崎	インターンシップ生の受け入れ(高校生5日間、大学生10日間 計45名) ものづくり人材育成事業:工業高校との連携・ものづくり企業での実習体験(10日間)
豊橋	豊橋商工会議所に事務局を置く豊橋技術科学大学協力会(会長=松井英治郎副会頭)が、昭和54年より毎年、(1)国際学会等での研究発表、(2)長期海外留学、(3)海外実務訓練のいずれかのために渡航する修士生を中心に、研修助成を行っており、昨年度までで300名弱にのぼる。年度により異なるが、毎年10名前後の学生に、総額150万程度の助成を行っている。
瀬戸	インターンシップ先の企業を紹介している。
豊川	平成18年度より「高校生インターンシップ受け入れ事業」として、会員事業所の中で、高校生のインターンシップ受入が可能な事業所を登録し、高校に情報提供を行っている。
豊田	(H19年度)市内大学2校、工業高校1校 学生約50名を対象に会員企業18社にて受入を実施 (H20年度)市内大学9校、工業高校1校 学生150～200名を対象に会員企業50～60社にて受入を予定

会議所名	事業内容等
碧南	<p>平成19年度工業高校実践教育導入事業「愛知版クラフトマン21推進事業」西三河産業界を支える人材育成事業：愛知県立鶴城丘高等学校、愛知県立碧南工業高等学校、愛知県立岡崎工業高等学校と西尾商工会議所、碧南商工会議所、岡崎商工会議所が連携して全国一の自動車産業や機械産業のサポート・インダストリーや食品産業等の郷土特有の優れた地域産業の技を継承し、地域の発展に貢献してきた中堅技術者の後継者となる人材（クラフトマン）の育成を図るとともに、地域社会と教育界とのパートナーシップの強化により、実践的な教育力の強化を図り、優秀な技術・技能者を輩出することによって、産業界の発展につながることをめざして事業実施。（事業期間は、平成19年度から平成21年度の3年間を予定）</p> <p>インターンシップ 2年生 235名 協力事業所83事業所</p> <p>企業技術者等による学校での実践指導 教員の高度技術習得 熟練技能者等による講話</p> <p>碧南高校商業科・碧南工業高校機械・電子工学・環境工学科優良生徒表彰式の実施：高校教育の人材育成と地域への人材定着、地域貢献を目的として、今春碧南高校商業科卒業予定者のうち全国商業高等学校協会主催の情報処理、珠算・電卓実務、簿記実務など全8種目の検定試験1級を5種目以上取得した優良生徒17名（うち1名は8種目全て合格）、碧南工業高校3年間で各種資格試験合格優秀者にたいして、小笠原碧南市教育長、加藤碧南高校校長、服部碧南工業高校教頭や恩師、当所正副会頭が見守る中各自に表彰状を授与した。被表彰者 26名</p>
西尾	<p>・県立鶴城丘高校生を対象にしたインターンシップ事業の実施 ・県立鶴城丘高校生を対象にした社会人講師の派遣</p>
春日井	中部大学インターンシップ事業に協力し、学生の受入をしている。（夏休み期間中の2週間）
犬山	平成19年に犬山市、名古屋経済大学と連携交流に関する協定書を締結、現在連携推進協議会を立ち上げ、地元大学との交流事業を検討中。
大府	大学3年生の夏休みの期間を使って、企業に出向き就業体験をする「インターンシップ」に今年の夏から初めて取り組むべく調査をしています。具体的には4月末回答期限でインターンシップ受入れ希望回答書を会議所会員全社送付、回答のあった企業と当所と協力関係にある大学と5月～6月にかけて調整し、マッチングに結びつけるべく活動中です。
四日市	三重県商工会議所連合会が経済産業省より受託している「若者と中小企業とのネットワーク構築事業」に平成20年度より参画。平成19年度までの実績はなし。
津	<p>・インターンシップ事業（受入企業の開拓） ・講師（企業の社長等）の派遣</p>
松阪	<p>・インターンシップ事業（高校生・大学生） ・ヤングエイジ事業「高校生経営塾」高校生対象の経営セミナー</p>
桑名	製造関連部会を中心として、桑名工業高校2年生全員について、インターンシップ事業を受入する企業の募集、開拓を行っている。
上野	高校生（職業高校4校 約500人）のインターンシップ事業受入先事業所の確保
龜山	平成18年度に地元高校が普通科生徒2年生を対象としたインターンシップを実施。当商工会議所に対し受入事業所の募集依頼があり、これを受けて会員事業所に募集を行い受入事業所を取りまとめた。平成19年度に三重県商工会議所連合会より中小企業委託事業として標記の事業再委託の打診があり2年間の実施事業として受託。龜山高校が実施するインターンシップ事業を支援し、一方若者と中小企業とのネットワーク構築を進め併せて地域企業の魅力発信、採用力向上を図ることにより地域中小企業の人材確保を支援する。
名張	高校生を対象としたインターンシップ事業
鳥羽	管内の高校生で会議所を希望する生徒に対し受入れを実施している。大学生についても希望する学生がいれば受入れを実施している。
鯖江	メガネwaku コンテスト：全国小中高大学等に、メガネの機能やデザインを募集する。その入賞作品の中から工業高等専門学校と共同研究をし、新しいメガネフレームの開発を実施している。
草津	草津市内に立命館大学びわこキャンパスがあり、産学官連携で協力・支援している。本所、草津市のイベント等へ部活動やサークルの出演、参加も要請している。インターンシップ実習生については、大学コンソーシアム京都より、毎年1名の実習生（大学生）を2週間受け入れている。
守山	近隣の商工会（3）と合同で事業を開催。市内の企業から人材を求める企業に出展願ひ、ホテルにおいて学生（大学生）に企業説明会を開き、市内企業の求人活動の支援をする
京都	学生ベンチャーの創出、起業意識を芽生えさせる場の提供として京都市等との連携により、「京都・学生アントレプレナー大賞」事業を実施。ビジネスプランコンテストへのエントリー促進、各大学への出張相談などにより、全体的なボトムアップと、プラン実現に向けた継続支援を行う。
福知山	主体的ではないが、インターンシップの受け入れに協力している。当所主催のイベントで高校生の研究等の発表の場を設定している。
綾部	<p>・地元工業高等学校インターンシップ事業の支援委員として、企業と学校との仲介に取り組んでいる。 ・コンソーシアム京都のインターンシップ希望学生を当所でも受け入れ支援をしている。</p>
宮津	企業見学会の実施。

会議所名	事業内容等
大阪	・大学生のインターンシップ受入れ ・大学コンソーシアム大阪、ならびに大学コンソーシアム京都等から、毎年10名程度の学生を大阪企業家ミュージアム(運営:大阪商工会議所)で受入れ。 ・大学3回生を対象に、就職戦線を勝ち抜くマナーやノウハウを学び、有名企業が求める人材像を若手社員から聞く「大学生のための仕事を考えるセミナー」の企画・運営業務を担当し、企画力・折衝力・コミュニケーション能力等の育成を支援する。
堺	南大阪地域大学コンソーシアムインターンシッププログラムに有識者として参画する一方、学生の受入を行った。
東大阪	学生が東大阪市域事業所のモノづくりの職場に於いて、就業体験を通して実践的能力を身につけ、将来の産業界を支える人材育成に寄与するとともに、大学・高等専門学校等と地域企業の産学連携を深めることを目的に事業を展開。受入希望する企業30社の概要等を記載した冊子を、大学・高等専門学校等の事務局(20校)に配布する事により、インターンシップを希望する学生とのマッチングを図っている。
高槻	産学連携事業平安女学院大学 生活福祉学部と 高槻の伝統産業である、寒天について地元大学と、地場寒天メーカーとの産学連携により地産地消の推進を図る。高槻の地域資源である鶴殿地区の「ヨシ」を活用した製品への可能性を産学で研究。以上の事業に共同して取り組んでいる。
岸和田	岸和田市には近畿職業能力開発大学校があり、そのインターンシップ事業に協力しています。当所の情報にインターンシップに協力案内を掲載。当所でも2名の学生を10日間受け入れております。
茨木	インターンシップ事業:高校生に対しては会員企業を紹介。大学生に対しては毎年3名受け入れ、会頭が大学の客員教授をしている
豊中	某私立大学からの要請により、インターンシップ実習生の受け入れを実施している。(平成19年度より)
和泉	インターンシップの受け入れ(商工会議所での職場体験)。ホームページの作成。地場産品販路開拓事業に関する、地場産品展示コーナーのリニューアル活動。地元商工業の現状調査など。
神戸	「事業創造型インターンシップ」を実施(兵庫県立大学、神戸市と連携):学生がインターンシップ制度を活用して、3~4日程度、地元中小企業を訪問し、経営者・経営幹部・従業員等へのヒアリング等を通じて企業情報を収集する。その後、教官等を交えて経営分析等を行いながら中小企業が取り組むべき課題や方向性を検討し、提案する。11月から12月頃に中間報告会を開催し、取りまとめの方向性を確認した上で、3月に報告会を開催する。平成19年度...5社実施。
明石	地元にある商業高校が平成18年度から、法人設立から販売活動・決算報告までの授業を行った。その時に兵庫県東播磨県民局の補助金(学生と進める商店街元気発信事業)を利用して商店街の空き店舗において販売活動を行った。またその補助金は補助対象の2分の1を負担するもので、当所も4分の1負担した。 実施事業としては、平成18年度は授業で販売活動と事務的ノウハウを勉強し、12月初旬に商店街の空き店舗を利用して物品販売を行った。平成19年度は授業内容は昨年と同じで、市内で開催されるイベントと商店街の空き店舗を利用した物品販売を行った。
三木	地元大学から要請を受け、インターンシップ受け入れ企業の依頼協力を行っている。
豊岡	高校生を対象とした事業所見学
龍野	高校のデザイン科生徒の実習において産学連携の橋渡しを行った。
小野	高校・大学生を対象とした、インターンシップ受け入れ
加西	昨年より、インターンシップ事業に取り組み、大学生1名を受け入れた。今年度から、会員企業にも働きかけを行い、数社の申し込みがあった。
御坊	インターンシップを平成18年、19年と実施
紀州有田	各職業のビデオ紹介、企業見学会、企業での就業体験(高校生対象)
米子	・インターンシップ支援助成金制度(企業向け) ・優秀学生表彰(会頭賞授与)
倉吉	企業見学会を実施している。
出雲	地元、農林高校の生徒(島根県立出雲農林高校・2年生)を当所食品製造業者会員事業所に受け入れ、職場体験学習を実施
岡山	地元の岡山商科大学での会頭・専務理事の特殊講義の実施
倉敷	倉敷商業高校の科目「課題研究」における企業演習として毎年1~2人を事務局へ受け入れている。 倉敷中央高校の総合的な学習の時間の中で、町づくりや地域振興について講義をしている。 倉敷芸術科学大学へ町づくりや起業・創業について講義をしている。 倉敷芸術科学大学が市民講座を開設するにあたり支援・協力している。
広島	工業高校実践教育導入事業経済産業省からの受託事業で平成19年度より実施している。広島県内の工業高校5校の生徒を対象に、製造現場における企業実習や企業の熟練技能者による学校での実践的授業を行い、就職を希望する工業高校の生徒に「ものづくりの魅力」を伝え、製造に携わる人材の育成に努めている。
尾道	インターンシップ、講師派遣研修事業、店舗実習(販売実習)、産業教育懇談会及び企業見学会
呉	呉ふるさと奨学金制度事業:市内大学生を対象に、月3万円を給付する。卒業後、呉市内に就職した場合は返済の義務なし。

会議所名	事業内容等
三次	現場体験学習のコーディネート 定時制キャリア教育推進のため特別非常勤講師の派遣 生徒の進路等に関する学校側と企業側の情報交換、意見交換の場づくり
廿日市	地元大学および高校の要請により、当所で職場体験を希望する学生および生徒を2週間受け入れた。当所事業への参加・会員事業所への訪問・パソコンでの日勤報告書の作成等で、地域総合経済団体としての会議所の役割や仕事を体験して貰った。
下関	インターンシップ事業
宇部	高校生・大学生・高専生・専門学校生を対象としたインターンシップ事業
山口	山口型インターンシップ事業の実施。市内3大学と連携し、「山口型インターンシップ運営協議会」を組織、山学が協力して「シャドウイング方式」により実施する。また、山口県経営者協会との連携により、帰省地においても参加可能となっている。
防府	市内高校生のインターンシップ事業・職場見学の際の企業紹介
新南陽	産業観光ツアーの中に1コースを設け、周南地域の工場見学を実施している。
丸亀	市産学支援事業として市内の高校生が自ら企画、立案、実行する商店街活性化事業に取り組んでいる。
新居浜	新居浜市内高校3校が、インターンシップを実施している中、当所が主催でインターンシップ派遣前のマナー研修を実施し、インターンシップを支援している。
久留米	インターンシップ事業として、毎年短期大学の学生2名を1週間受け入れ、就業体験実習を行っています。
北九州	当所と地元の大学と漁業協同組合が協働して、特産品の開発事業を行っている。
大牟田	市内県立高校の「インターンシップ事業」につき、当所も受け入れ対応した。19年度:1名2日間、20年度:3日間当所諸々の仕事に従事いただいた。
宮若	鞍手竜徳高校生徒の職場体験受け入れについて、当会員事業所に協力要請を電話・文書等で行って貰います。
長崎	インターンシップ受け入れ事業
熊本	インターンシップ受け入れ:県の経営者協会、ヤングハローワークを通して年間2~3回程度受け入れを行っている。(昨年度実績:3回、計5名)
八代	地元の高校生を対象とした職場体験学習を年1回実施しており、一週間程受け入れしている。
山鹿	高校生対象のインターンシップ事業を行っている。
津久見	インターンシップ事業
都城	平成19年度に「高校生の幸せな就職を考えるフォーラム」を高校生、先生、保護者を対象に開催し、企業が求める人材について、企業の採用担当者、就職担当教諭によるパネルディスカッションを行なった。また、高校生のインターンシップ受け入れ企業の紹介を実施した。
宮崎	宮崎商業高校(3名・3日間)宮崎産業経営大学(2名・5日間)インターンシップ受け入れ
延岡	商業高校が商店街で、文化祭を開催している。その際、各商店での商いや販売のためのインターンシップを行う。商工会議所が主体となって学校に対する店舗の選定や受け入れ先の設定・支援を行っている。
川内	地元鹿児島純心女子大学との連携により、中心市街地に空き店舗を活用しチャレンジショップを開業し、中心市街地に若者の集客を図り街の活性化を促す。また、商店街の一品づくり運動に学生の新鮮な意見を取り入れ、店主の意識改革を促す。学生を構成員とする商店街の活性化を図るための組織化 商店街の活性化を図るための学生による企画、立案、実行 空き店舗を活用したチャレンジショップの運営
指宿	商業高校の生徒を3日間職場体験研修として受け入れている。朝市や空き店舗対策事業の店舗で商業高校の生徒が販売業務を体験
那覇	インターンシップ事業 高等学校や専門学校からの要請による就業体験、期間は1週間から2ヶ月程度